

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022~2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2696 第17回例会 2022. 11. 24 曇のち晴

点 鐘 : 須藤 隆 会長
進 行 : 飯島由美 副SAA
朝月真次郎 SAA
ソング : 我等の生業

会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さんこんにちは。志波さんの突然のご逝去に接し、皆さんと共に哀悼の意を表し、黙とうしたいと思います。黙とう。

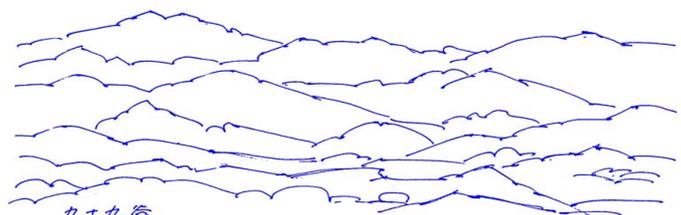
志波さんとの思い出は尽きません。私にとってはロータリーでの14年間、個人的には私が小学校6年生からの65年以上の付き合いでした。ロータリーでの思い出で、第一に挙げるのは志波さんが会長、榎本会員が幹事の時に、私と3人でモントリオールでの世界大会に出席したことでしょいか。途中、ニューヨークに立ち寄り、夜にマンハッタンの大通りを4~5キロは歩いたであろうと思われるくらいよく歩きました。またモントリオールでも世界大会はほど

ほどにして、今の私たちでは考えられないくらいよく歩きました。その時志波さんは今の私より2才若い77才でした。

会報作成での志波さんとの関りも思い出の一つです。私が入会したころは、会報作成は志波さんが主体で、今のように多くの会員は担当しておりませんでした。私はリタイアして65才でロータリーに入会したのですが、入会と同時に、志波さんから会報担当を依頼されました。会報のように写真や卓話を体裁よくレイアウトすることには慣れておりませんでしたので当初は結構戸惑いもありました。写真については撮ったまま掲載するのではだめと言われ、撮った写真は事前に志波さんに送り、志波さんが明るく、鮮明に修正したものを掲載することにしました。そのうちに私が写真修正ソフトを購入して、すべて完成するまで手掛けるようになりました。それでも校正を志波さんに依頼すると、細部にわたるまでご指導を頂き、志波さんから指摘されるのが無くなるようになるまでには2~3年を要した気がします。志波さんは厳密な正しさに拘り、そのたびになるほどと思ったものでした。今後も会報作成には志波さんの思いを大切にしていければと思います。

個人的は、小さいころから大変お世話になりました。出会いは小学校6年生の時に佐貫の志波さんのお宅に伺ったとき、円の面積の出し方を教わったのが最初と記憶しています。それ以来数学が好きになった気がしておりました。高校に入っても志波

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

さんとは数学の話をよくしました。私が数学にはまったのは志波さんの影響が非常に強かった気がします。たまたま高校も、大学も志波さんの後輩になり、大学では学部も学科も同じでした。志波さんとは従兄弟以上に真の兄のようなお付き合いをさせて頂き、人生の節目節目では相談相手になっていただきました。その志波さんが亡くなったことが残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。今回は志波さんの思いをお話しさせていただきました。

訃報 チャーターメンバーである志波克会員が去る11月20日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。三枝一雄会員より故志波会員の病状説明がありました。



病状を説明する三枝会員

弔辞

須藤 隆 会長

富津中央ロータリークラブを代表し、また、志波さんを実の兄のようにお慕いしてきた一人として、ご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

志波さんは昭和四十一年当クラブ創立以来のチャーターメンバーとして、今日まで、五十六年間にわたり私たちクラブの指導的な役割を果たされました。クラブ会長の重責を二度にわたり務められ、平成二十四年～二十五年度には、木更津、君津、袖ヶ浦、富津地区のロータリークラブを代表する指導者として地域ロータリークラブの活性化に多大な貢献をされました。

その温厚な人柄と、知性あふれる深い教養をもって、地区クラブ間の親睦交流を深め、私たちクラブ活動の活性化に多大な功績を残されました。

米国および台湾のクラブとの交流並びに海外留学生受け入れにも積極的に活動され、常にクラブのリーダーとして、私たち後輩の模範でもありました。

最近では会員のためにロータリーに関する卓話を何度かされ、経験に裏付けられた素晴らしい話の内容に多くの会員は感動し、志波会員の卓話を楽しみにしておりました。

私がリタイアした後、何度か海外旅行もご一緒させていただきました。中でも志波さんが七十九歳の時、二人で十日間のブラジル旅行を楽しみ、ヘリコプターに乗ってイグアスの滝を上空から見学したのが今でも鮮明に思い出されます。

私にとってはまさに兄のような存在であった志波さんの突然の訃報に、驚きと共に深い悲しみに打たれました。まだまだお元気でご指導を頂けるものと思っておりましたので残念でなりません。

ここに志波さんの業績と私たちに対する深い愛情に対し、心より尊敬と感謝の念を申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、ご遺族をはじめ、関係する皆様に深く哀惜の意を申し上げます。

志波さん、どうかやすらかに眠りください。

幹事報告

相川恵津子 幹事



皆さん今日は。志波さんのことは残念です。もっともいろいろなお話をお聞きしたかったのですが。水道組合として請求書のソフトを作っていただきすごい人だと思っておりました。ご冥福をお祈りいたします。

28日(月曜日)は中央公民館で公民館カフェが開催されます。

会員卓話

渡辺哲夫 会員

大人のひとり旅 “てつ旅旅行記”

今日の卓話のテーマはてっちゃんの鉄道一人旅“てつ旅旅行記”と題して9月から11月の今日まで4回旅行をしてきたので、その旅行記についてお話をしてみたいと思います。

そもそも私が鉄道一人旅をしようと思ったきっかけは8月のある時、本屋さんに立ち寄った時ふと目にした「大人のひとり旅・悠々浪漫紀行」と「旅行読売」という2冊の旅行雑誌がキッカケでした。

早速購入して旅行雑誌を読んで見たらすぐにも旅行がしたくなったので、9月上旬に近場の温泉旅行を一泊二日で計画してみました。



一人旅第一弾は、9月5日(月)～6日(火)に群馬県を代表する名湯で恋の病以外は何でも直すという「草津温泉」に行ってきました。途中一つ手前の駅、川原湯温泉駅に下車し、ハツ場ダムを徒歩にて見学しましたが、天気に恵まれ非常に熱く大汗をかいたのと、歩き疲れを途中の川原湯温泉共同浴場(写真)に入浴しさっぱりとしたところで、再び吾妻線に乗車し目的地である草津温泉駅で下車し、草津温泉行のバスに乗車し約30分、草津温泉に到着しましたが宿泊先を決めないで来ましたので観光案内所の旅館組合でホテルを紹介してもらいましたが、当日は観光客が多く一人で宿泊できるホテルは殆どなく紹介して頂いたのは文化財みたいな老舗の旅館「山本館」でした。しかし、旅館の目の前が有名な湯畑でしたので、窓から湯畑が眺められしかもこの日は泊り客が4組6名ということで、お陰で山本旅館の内湯を独占し草津の温泉を十分堪能できました。

翌日の朝食は豪華で品数も多く食べきれません

でした。食後帰路につく前に、日本でも指折りの広さを誇る解放感抜群の露天風呂「西の河原」の露天風呂に入浴し、帰路につきました。

一人旅第二弾は、10月4日(火)～5日(水)の一泊二日で全国温泉ファンが憧れる山の中の名湯、個性あふれる魅力の湯宿が点在する人気抜群、秘湯中秘湯・乳頭温泉郷の湯めぐりですが、東京駅から秋田新幹線こまちに乗車して約3時間、乳頭温泉郷の玄関口である田沢湖駅で下車をする予定でしたが、ちょっとその前に「みちのくの小京都」と言われる武家屋敷の美しい風情の街並みの角館駅まで少し足を延ばし、江戸期の文化が薫る武家屋敷を小雨の降りしきる中を、徒歩でタイムスリップしたような街並みを見学し、丁度お昼時お腹も空いたので昼食を取ることにしました。立ち寄った食堂は、毎週土曜日テレビ東京の午前8時から放送される「旅サラダ・これうまの旅」で紹介されたお食事処「十兵衛」でした。日本三大美味鶏として名高いブランド鶏「比内地鶏」の親子丼を頂いてきました。

そして、食後は角館駅から田沢湖駅まで戻り、駅前バスターミナルから乳頭温泉郷行きのバスに乗り込み、田沢湖畔を経由して約50分でホテルに到着。日本の秘湯を代表する温泉で秘湯ブームの火付け役となった、乳頭温泉郷の「鶴の湯温泉」に宿泊したかったのですが、一人で宿泊できる部屋は4部屋と少なく、12月末までは予約で一杯とのこと、仕方なく今回宿泊したのは「休暇村乳頭温泉郷」というホテルでした。乳頭温泉郷で7カ所ある温泉宿の湯めぐりをしようと考えていたのですが、ホテルに到着時には大雨となり一日目の湯めぐりを断念し、少し早めにホテルに到着したのでその分宿泊ホテルの内湯と露天風呂を十分すぎるほど堪能することができました。

2日目は雨もすっかり上がり、ホテルで「乳頭温泉郷湯めぐり帳」と「湯めぐり号一日乗車券」を購入し湯めぐり号で「蟹場温泉」「大釜温泉」「妙の湯温泉」と3カ所、そしてホテルの「休暇村乳頭温泉郷」を含めて7カ所の内4カ所の温泉湯めぐりをすることが出来ました。

しかし、特に行きたかった「鶴の湯温泉」は少し

離れているのと湯めぐり号の運行上時間の都合で行くことが出来ませんでしたので、後日今回湯めぐり出来なかった残りの「鶴の湯温泉」「孫六温泉」「黒湯温泉」の3か所の温泉宿については購入した「乳頭温泉郷湯めぐり帳」と「湯めぐり号一日乗車券」は購入から一年間は有効という事でしたので、改めて訪れることにして帰路に着きました。

一人旅第三弾は10月17日(月)～18日(火)で、溪谷を走るローカル鉄道全長135.2Kmの「只見線」で行く奥会津の絶景旅と東山温泉の会津若松の旅でした。

2015年7月の豪雨で橋も流され、一部が不通となり廃線と思われたが豪雨災害から11年。10月1日に全線の運行が再開された只見線。10月4日(金)午後8時45分から10時まで、NHKBS4K 新日本風土記「絶景鉄道 只見線 11年目の再会」という番組内容で放送された影響で、当日は雨天にもかかわらず、2両編成のローカル鉄道は乗車率約180%という混雑でしたので、私は出発駅の上越線・小出駅から終点の会津若松駅までの約4時間、座ることも出来ず立ちっぱなしでしたが、途中沿線の人々は列車が通過すると皆で手を降って歓迎してくれている姿を見て、疲れを忘れさせてくれました。

東山温泉での今宵の宿は、会津の民謡に登場する「朝寝・朝酒・朝湯が大好きな庄助ゆかりの湯、庄助の宿「瀧の湯」で疲れた体を温泉で癒し会津地方の味覚を盛り込んだ食事を楽しみました。

翌日は天気も回復したので会津若松駅前から巡回バスで、鶴ヶ城と武家屋敷を見学し、次に磐越西線・郡山経由東北本線で白河駅に下車し、白河小峰城を見学してお昼は駅前の観光案内所で聞いた食堂で名物白河ラーメンを堪能し帰宅の途に着きました。一人旅第四弾及び第五弾は次回報告します。

ここで一句

秋盛り 温泉旅に 一人旅

露天風呂 一人出湯の 秋景色

以上、ご清聴ありがとうございました。

子供食堂報告

飯島由美 社会奉仕担当部員



来週の金曜日(12月2日)に子供食堂が開催されます。クリスマスプレゼントとしてお菓子70セット用意いたしました。

お手伝いをしてくださる方は、中央公民館にお集まりください。

ニコニコBOX

岡田良弘 親睦担当部長
榎本守男 チャーターメンバーの志波さんに哀悼の意を表し、ご冥福を祈ります。

〃

相川恵津子 岡田良弘 平川恵敏 渡邊哲夫
若鍋武良 山下 厚 小野恒靖 石渡 鋼
飯島由美 白石幸久 渡辺 務

渡辺哲夫 〃 卓話をさせていただいて。
三枝一雄 志波会員の最期を看取った報告をし、ご冥福を祈ります。

出席報告

白石幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	32	22	3	3	83.33%
前回	32	19	3	3	75.86%
前々回	32	23	2	3	86.66%

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した会員数} + \text{Makeupした会員数}}{\text{全正会員数} - \text{当日欠席した免除適用会員数}}$$